

らくがき

ゆうたくんとけいごくとたくやくんは、同じクラスです。きょうも三人いつしよに学校からかえりました。かえり道、同じクラスのゆみ子さんのいえの前をとおりかかりました。ゆみ子さんのいえには、くいがあります。けいごくんが、

「ゆみちゃんのいえのくいに石で絵をかこうや。」
と言いました。

「うん。かこう。」
と、ゆうたくんが言いました。

たくやくんは、だまっています。
「たくやくんもかけよ。」

と、けいごくんがさそいました。
「そんなこと……。」

と、たくやくんは言いました。しばらくのあいだ、たくやくんはじつとしていましたが、むりやりに白い石をわたされたので、とうとう絵をかいてしまいました。それから、ゆうたくんは、かいた絵のよこに『ゆみ子』と書きました。

家にかえったたくやくんは、らくがきのことであたまの中が重くかんじられました。おやつを食べている時、お母さんが、

「どうしたの、元気がないじゃないの。何かあったの。」
と、しんぱいしてたずねました。

「うん……。」
と、たくやくんは、しばらくかんがえていました。ゆみ子さんのかなしそうな顔がうかんできました。

「お母さん、これからゆうたくんの家に行つてくるよ。」
と言って、たくやくんは家をとびだしました。ゆうたくんは、けいごくとちかくのこうえんであそんでいました。たくやくんは、

「らくがきをけしに行こうや。人の家のくいにらくがきをするなんて、やっぱりいけないことだよ。」
と、おもいきつて二人に言いました。三人はしばらく話し合っていました。

たくやくんたちは、ゆみ子さんの家へ行き、しやうじきにあやまりました。

そして、三人でいつしやうけんめいにくいのらくがきをたわしをつかつてけしました。石でかいたららくがきがきえると、たくやくんの心もすつきりしました。